

平塚市民病院あり方懇談会報告会 議員説明会開催

6月7日(火)、午前中には平塚市議会6月定例会が開催され、市長より提出案件の説明がされました。その午後に、「平塚市民病院あり方懇談会報告書」等説明会が開催されほぼ全員の議員が参加しました。病院からの出席者は、亀井善太郎あり方懇談会座長、この4月から着任された諸角強英事業管理者、金井歳雄病院長(写真前列右側より)ほか事務スタッフです。



事業管理者からは、地方の公立病院で、救急医療と小児・周産期医療を維持していることは大変なことだとの話でした。

理念と基本方針を堅持し、地域の中核病院として急性期医療を支える病院としての役割の重要性を強調されました。

理念

患者の視点に立ち、安全で信頼される、地域に根ざした医療を提供するとともに、健全な病院経営に努めます

基本方針

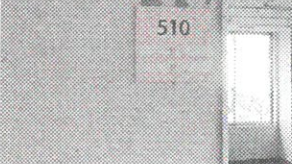
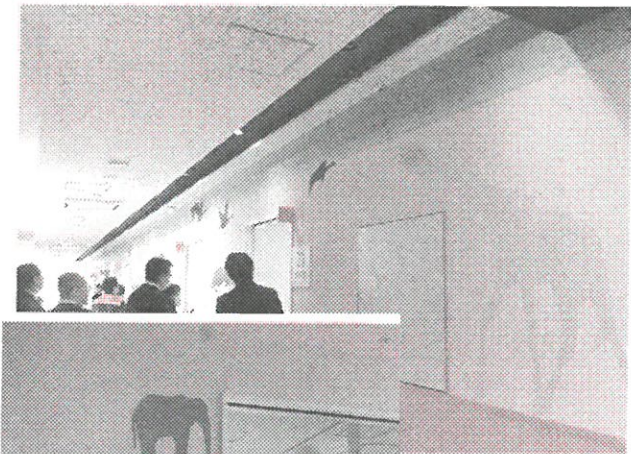
- 患者の視点に立った医療を提供します
- 安全で信頼される急性期医療を提供します
- 地域に根ざした医療を提供します
- 病院経営の健全性の向上を図ります

亀井善太郎座長からは、報告書に添って説明され、最後に、今後のビジョンと、実現のための4つの前提条件を話されました。

選ばれる病院、市民に信頼される病院になるのは、①病院—診療所の情報提供、②医療側と患者とのわかりやすいコミュニケーションが不可欠との話は今後の運営について大事な示唆でした。

小児科が緊急事態に！

平成28年4月から、平塚市、大磯町、二宮町の小児入院医療は、平塚市民病院のみで担っています。その結果、小児患者さんが集中し、今まで以上に待ち時間が長くなってしまいました。



導入された自動精算機

小児科の壁に動物のイラストが。とても明るく感じます

9条かながわ大集会 2016in 湘南ちがさき みんなの思い 9条守れ！政治を変えよう！



小中学生を中心にしたMINX(ミンクス)の元気なパフォーマンスでオープニングしました。

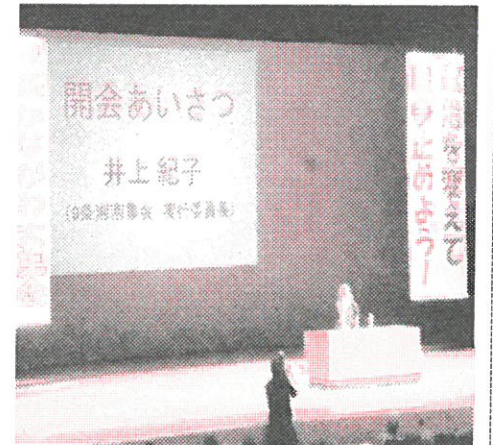
開会にあたって、実行委員長の井上紀子さんは、安保法制が成立し改憲路線にある現状に「今のままでは戦争で犠牲になられた方、これから生まれてくる子供たちに顔向けできない」と述べ、参院選に向けて市民一人1人が行動する大切さを訴えました。

ルポライターの鎌田慧さんは「原発事故は誰も責任を取らず、原因も分かっていないのに再稼働するのは筋が通らない」と安倍政権の原子力政策を批判しました。

9条の会事務局長で東大大学院の小森陽一教授は「戦争法は施行されていても、国民が憲法を掲げて使わせない状態にしている」と述べ、さらに廃止へ追い込む状況を作ることが「草の根運動の使命」と力強くも時折ユーモアも交えて訴えました。大変元気の出る集会となりました。

6月4日(土)に、湘南地域などの9条の会で作る実行委員会が主催して、「9条かながわ大集会 2016in 湘南ちがさき」が開催されました。

約1,000人の方の参加で会場は熱気にあふれていました。



実行委員長の井上紀子氏



9条の会事務局長の小森陽一氏

2016. 6. 8 昼休みミニコンサート開催

市庁舎多目的ホールでミニコンサートが開催されました。今回は「古楽アンサンブル gmt」による17世紀イギリスの調べと題して6曲を演奏しました。すでに実存しない珍しい楽器と女性4人の美しい調べに多くの市民が聞き入っていました。次回は8月31日(水)の予定。



議員団 ニュース

日本共産党平塚市議会議員団

電話 0463-23-1111 (内線 2375)

平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No. 1361 2016年 6月12日発行

日本共産党平塚市議会議員団

団長 高山和義

電話・fax 31-4638

k.takayama@mb.scn-net.ne.jp

渡辺敏光

電話・fax 31-6431

w-toshi@agate.plala.or.jp

松本敏子

電話・fax 59-4607

mail@matsumoto-toshiko.jp

日本共産党議員団の法律相談

今回は 6月23(木)です

午後4時～6時 (要予約)

平塚市議会6月定例会提出議案について

5月30日(火)に議会運営委員会が開催され、平塚市6月定例会市議会の議案が提案されました。一部を以下に掲載します。

○議案第47号 平塚市余熱利用施設の設置及び管理に関する条例

先週の議員団ニュース(1360号)でお知らせした、平塚市余熱利用施設の設置及び管理等に必要な事項を定めるため条例を制定するものです。

この余熱利用施設は、平成25年10月より稼働を開始した、新環境事業センターのごみ焼却によって発生した熱を有効活用し、健康増進や福祉、スポーツ、交流の場として幅広く利用できる施設として活用を目指します。東部福祉会館白寿荘はこの余熱利用施設に移行する予定です。

○議案第48号 平塚市健康づくり推進条例

健康づくりについての基本理念を明らかにするとともに、市民、地域団体、事業者及び市の協働により、市民の健康づくりに関する施策を包括的に推進する体制を構築し、健康長寿の地域社会の実現に寄与するための条例を制定するものです。

○議案第49号 平塚市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例

個人番号の利用範囲等を見直すとともに、必要な規定を整備するものです。

特定個人情報の内、行政が保有するものについて本人からの個人番号カード等の提示がなくても、情報を利用できるようにするものです。

範囲は、地方税関係情報、ひとり親家庭等医療費助成、小児医療費助成、外国人生活保護関係情報、重度障害者医療費助成関係情報など。

○議案第51号 地方税法第314条の7第1項第4号に掲げる寄付金を受け入れる特定非営利活動法人等を定める条例の一部を改正する条例

追加された団体

NPO法人ロボティック普及促進センター

NPO法人スローライフ障害者地域活動支援センター

○議案第52号 平塚市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

学校教育法の一部改正により、放課後児童支援員の対象範囲を改訂するものです。

小中一貫校等の進展により、義務教育学校を追加するものです。

○議案第56号 製造請負契約の締結について

平塚市・大磯町・二宮町の1市2町で災害発生時の消防指令業務を平成29年度より共同運用する設備を整備するものです。

※消防指令業務とは、住民からの119番通報を受け付け、火災や救急、救助などの災害種別・発生場所を決定し、出場隊を編成し、指令書と音声により出場指令を行う一連の業務をいいます。

製造請負金額：534,600千円

契約相手：日本電気株式会社湘南支店

○議案第57号 工事請負変更契約の締結について

市役所新庁舎建設工事において、賃金・物価の上昇に伴う増額、地中障害物撤去及び汚染基準値超過土の搬出等に係る費用が追加となり、請負代金の増額が必要になったことから、変更契約を締結するものです。

工事請負金額

変更前：8,638,601,010円

変更後：8,843,198,370円

差額：204,597,360円

契約相手：竹中・成瀬特定建設工事共同事業体



○議案第58号 平成28年度平塚市一般会計補正予算

追加補正予定の事業

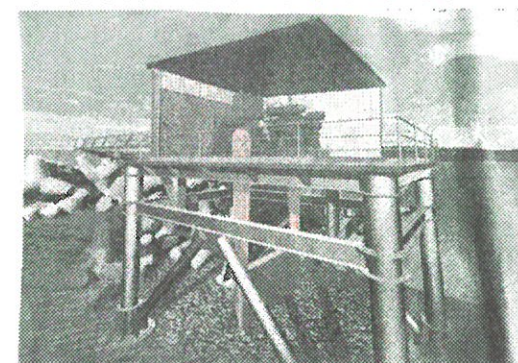
① 個人番号カード交付臨時窓口に係る労働者派遣委託について期間を延長するための経費 13,164千円

② 宝くじの社会貢献広報事業の助成金を活用して、自治会のコミュニティ活動に必要な備品購入助成 8,300千円

③ 県委託金を財源に糖尿病重症化予防事業実施 2,491千円

④ 国の地方創生推進交付金を活用し、平塚海岸で波力発電装置の実証実験に向けた産学公の研究会発足 300千円

平塚市と東大生産技術研究所が共同で数年後を目途の平塚新港に波力発電施設の設置を目指す電力の地産地消モデル実証実験のプロジェクトを計画。現在岩手県久慈市で実証実験中。



神奈川新聞社・東大生産技術研究所林研究室資料より

⑤ いのちを大切にすることを育む教育の推進に向けて、研究校を設定して取り組むための予算処置 120千円

一般会計予算補正額：31,685千円

一般会計予算総額：82,281,685千円

きれいなお花が市民をお出迎え

6月7日に、市内で生産されたお花をメインに使用し、「ハンギングバスケット」の手法で正面玄関に飾られました。